

vol. 45

The News Letter

2022 SUMMER

一般社団法人 日本歯科審美学会

General Incorporated Association Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

コロナ後の白い歯を目指して

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 橋場千織



未だ収束の見通しが立たないコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻により、2022年は世界的に混沌とした状況となっております。歯科医療でもロシアからの輸入に依存しているインレーやクラウンの材料となるパラジウムの価格高騰が顕著であり、これに困惑している歯科診療施設も多いと思います。しかし、審

美歯科の分野においては、この高騰はある意味変革のきっかけとなるかもしれません。白い歯に銀色の補綴物を被せるのは、審美的に不自然です。白い歯には白い補綴物を詰めたり被せたりすることは、自然なことであり、贅沢なことではないということを患者さんに広く知っていただくチャンスです。審美歯科で主に用いられるレジン、セラミック、ジルコニアは、金属ほどの急騰は見られませんし、企業の方々のご尽力により、強度が高く色調が自然なレジン材料も多種選択が可能となりました。歯科治療の際には、従来の銀色の補綴物を、レジン、セラミックやジルコニアといった審美的な材料に置き換えるということが以前と比較して優先されることになるかと思えます。そのためには、「歯科審美学とは、顎口腔系における形態美・色彩美・機能美の調和を図り、人々の幸福に貢献する歯科医療のための教育および学習に関する学問体系である」という本学会の教授要綱定義が、多くの患者さんに浸透する良い機会と言えます。一生涯自分の歯で健康に過ごしたいという健康意識の高まりから、審美歯科治療相談や不正咬合の改善のための矯正治療を希望する患者さんが急増していると聞きます。マスクをしている今のうちに審美的で機能的な良い歯並びを獲得したいという患者さんの希望が多いからだと思います。コロナが収束し、人々がマスクを外して笑顔を見せられるようになった時、整った歯並びとともに、銀歯ではなく白い歯が見える口腔がスタンダードとなっているようなアフターコロナの実現が本学会の急務といえます。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第33回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座 大会長 新海航一



今から約13年半前の平成20年10月12日・13日の両日、新潟市にある本学講堂をメイン会場として第19回日本歯科審美学会学術大会を開催させていただきました。そして第33回学術大会を令和4年10月15日（土）・16日（日）の2日間にわたり、14年ぶりに新潟市で開催させていただくこととなりました。今回は、大勢のご参加を期待し、コンサ

ートホールや劇場を有する大型公共施設の「りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館（略称：りょうとびあ）」を会場として手配させていただいております。気になるCOVID-19ですが、オミクロン株の出現により第6波が襲来し全国の新規陽性者数は今年2月に入り10万人を超えてしまいましたが、4月下旬では4万人を切るところまで落ち着いてきました。本学術大会は10月に開催する予定ですので、COVID-19がこのまま収束に向かうことを期待し、現地開催を前提に大会準備を進めております。

本学術大会のテーマは「形態・色彩・機能、三位一体の歯科審美」とさせていただきます。言うまでもありませんが、きれいな口元は、きれいな歯ならびと歯の形そして歯の色から成り立ちます。そこで忘れてならないのは、歯の機能です。形態や色を重視するあまり、大切な機能を軽視するわけにはいきません。「歯科審美」を学会名に謳う本学会は、国民の多くが望む「きれいな口元」を確実に提供することを使命としています。本学会の特徴としては、専門領域というよりも「審美的歯科治療」を志す歯科保存、歯科補綴および歯科矯正の三分野を中心とした先生方の集合体として成り立っています。また、会員は歯科医師ばかりでなく、歯科衛生士と歯科技工士が多い点からも「三位一体」といえる学術団体であると思えます。

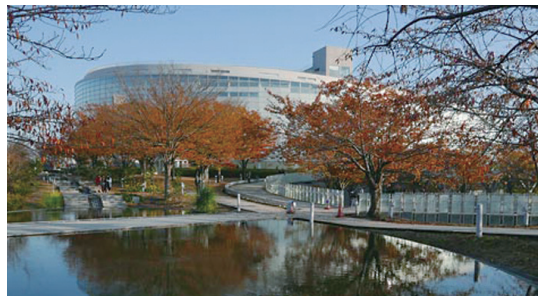
そこで本学術大会では、歯科保存分野から「長期的耐久性を考慮したダイレクトレストレーション」、歯科補綴分野から「咀嚼機能と耐久性を重視した審美的補綴治療」そして歯科矯正分野から「中高年者の歯周-矯正治療」を各々テーマとした3つのシンポジウムを企画しました。また、歯科衛生士セッションでは、「修復物・補綴物メンテナンスのチーム医療」を、歯科技工士セッションでは、「審美的歯科補綴治療を成功させるための情報

伝達」をテーマとして企画し、審美歯科治療を成功させるために、歯科医師と歯科衛生士あるいは歯科技工士とのチーム医療について考えていきたいと思います。また、アドバンスセミナーとして「包括的歯科審美治療の最前線」を、教育講演として「審美歯科治療へのマイクロスコープの応用」と「歯の保存と審美修復」の2演題を企画し、さらに特別講演として、昨年12月に本学会学術講演セミナーでご講演いただいた資生堂の池山和幸先生から「化粧療法」についてさらに詳しくご講演いただく予定です。一般口演とポスター発表も予定しておりますので、奮って演題をお申し込みください。

りゅうとびあ周辺には、白山神社、白山公園、信濃川河川敷の「やすらぎ堤」等々があり、新潟市民の憩いの場として利用されております。休憩時間を利用して会場周辺を散策されてはいかがでしょうか。COVID-19の状況次第ではありますが、しばらく開催されなかった会員懇親会を開催して楽しい時間を共有できることを願い、信濃川沿いにある「新潟グランドホテル」を懇親会場として手配しておりますので、ご参加をご検討いただきたいと思います。

現地開催を実施するにあたり、仮にアフターコロナの時代を迎えていたとしても、今後はやはり何らかの感染予防対策が必要になると思われるので、大会会場や懇親会会場を準備する上でこの点を十分に配慮させていただきます。

遠藤敏哉実行委員長と鈴木雅也準備委員長を中心に、(株)シンセンメディカルコミュニケーションズ様とともに着々と大会準備を進めておりますので、会員皆様方のご支援・ご協力そして第33回学術大会への積極的なご参加をいただきたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。



秋のりゅうとびあ新潟市民芸術文化会館

セミナー報告

第1回学術講演セミナー兼学会主導型研究報告会「口元の審美意識が健康寿命を延伸する」

学会主導型研究 代表研究者 藤澤政紀

2021年12月16日(木)19時から20時15分までwebinarにて標記セミナーが開催されました。235名の参加者があり、関心の高さがうかがえました。超高齢社会における健康寿命の延伸には口腔機能の維持が重要です。口腔機能低下に対しては、機能の面からのアプローチが多い一方、予防の観点から口腔の審美に着目した研究はほとんど見かけられません。そこで、一般社団法人日本歯科審美学会では、口腔の審美に関心を抱くことが口腔機能低下症、オーラルフレイルに対する予防手段に寄与する、という仮説を立て調査に着手しました。令和元年度よりAIを用いた解析手法で検討するべく調査準備を進めてきており、その経過を第31回、32回の本学会学術大会で報告してきました。今回の報告会では調査対象者が108名と増加しましたので、最新の解析結果を紹介しました。開始に先立ち、大槻理事長のご挨拶があり、続いて特別講演と研究報告が行われました。

【特別講演】

「化粧品が健康寿命に及ぼす影響～口腔外ケアのススメ～」と題した池山和幸氏(資生堂)による講演は、化粧品法の説明と、整容により健康寿命の延伸が期待できることへのこれまでの取り組みの解説がなされました。非常に興味深く、学会主導型研究とも深くかかわる内容でした。

【学会主導型研究】

これまでの経緯を簡単に説明し、続いて実際の調査方法、AIによる解析結果ならびにAI解析の概念の解説を行いました。今後数年、本調査を継続する予定です。協力施設と被検者の追加に向け、会員皆様の協力をお願いします。

最後に新海学術講演統括委員長の閉会の辞で会が閉幕しました。



新ポスター

セミナー報告

2021年度 第2回学術講演セミナー「マイクロデンティストリーを極める」

学術講演統括委員会 委員長 新海航一

本年3月13日に2021年度第2回学術講演セミナー「マイクロデンティストリーを極める」がWeb開催（ライブ配信）されました。この企画は、2019年度の「極めるシリーズ」の一貫であり、本来2020年3月29日に日本歯科大学生命歯学部にて開催される予定でしたが、COVID-19感染拡大防止のため中止となり、2年越しでようやくWeb上での実施となった次第です。

三橋純先生（東京都・デンタルみつはし）と菅原佳広先生（新潟県・月潟歯科クリニック）のご両名を講師に迎え、メディカルネット様のご支援により無事開催されました。座長は学術講演委員会委員の黒田敏樹先生が務められ、まず、菅原先生から「適合精度が生み出すEstheticsとLongevity～なぜ補綴領域にマイクロスコープが必要か？～」というタイトルで、休憩を挟んだ後、三橋先生からは「顕微鏡下の精密コンポジットレジン修復～その可能性と限界～」というタイトルで各々約1時間のご講演をいただきました。菅原先生は、マイクロスコープを用いた支台歯形成のポイントについて症例を示しながらわかりやすくご解説されました。三橋先生は、マイクロスコープを用いたコンポジットレジン修復における隣接面う蝕の診断、窩洞形成、う蝕除去、填塞法、ならびにマトリックスの適合調整について豊富な症例を通して詳細に解説されました。ご講演後に質疑応答時間が設けられ、チャットで送られた質問に対して丁寧にご回答いただきました。最後に、歯科医師学術講演委員会委員長の石川明子先生から講師の先生方に感謝状が授与されました。

250名のご登録をいただきましたが、視聴者数は209名（歯科医師：59名、歯科衛生士：112名、歯科技工士：4名、その他：2名）でした。視聴者の皆様に、今回のセミナーについてアンケートをお願いしたところ、177名の方からご回答をいただきました。その結果を要約しますと、演者2名、講演時間1時間は「ちょうどよい」、講演内容については「理解した」・「概ね理解した」とご回答された方が大半でした。数多くのご感想も頂戴いたしました。本学会としては、コロナ禍の中、今後も会員の皆様へ貢献いたしたく無料のWebセミナーをライブ配信で企画しておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



講師の先生方（左：菅原先生、右：三橋先生）と石川先生（中央）

セミナー報告

第52回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験の報告と今後の状況

ホワイトニングコーディネーター委員会 委員長 大森かをる

ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験は、新型コロナウイルス感染拡大のため2020年1月に福岡で開催したのを最後に、集合型での開催を中止しております。現在においても講習会やセミナーは通常開催が難しい状況が続いておりますが、私たち委員会では、先ずは2021年3月にコーディネーター資格更新者向けにオンデマンド方式の講習会を開催したところ、登録者は400名を超えました。そこで、昨年度はホワイトニングコーディネーター資格の新規取得を希望される方を対象に、オンラインによる第52回ホワイトニングコーディネーター講習会を開催し、その後、試験会場にて筆記試験を挙行了いたしました。講習会の視聴期間は2021年12月1日から7日の一週間で、『歯のホワイトニング基礎編（下田哲子先生）』、『歯のホワイトニング臨床編（柵木寿男先生）』、『ホワイトニングにおけるカウンセリングとケア（坂本奈津希先生）』、『こんなときどう答える？患者の質問に対して（須崎明先生）』の内容で制作し、配信しました。その後、受講済みの申請手続きが完了した方を対象に、2022年1月30日に東京2会場、大阪1会場の3箇所、同時に認定試験を実施しました。当日は、直前講義と質疑応答の時間を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の第6波に飲まれ感染者が急増した時期と重なってしまったため、簡単な説明と試験のみの開催といたしました。あらかじめ、受講者全員にアンケートを取り振替も可能としましたが、試験に合格した165名の新規ホワイトニングコーディネーターが誕生しました。

今年度も集合型での開催は難しいと判断し、第53回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験も、webによる講習会配信と東京2会場、大阪1会場で認定試験を開催する予定で、希望者を募集中です。今後の講習会については逐次学会ホームページ <https://www.jdshinbi.net/> でお知らせします。通常開催が可能となる日を心待ちにしておりますが、もう少しお待ちください。よろしく願いいたします。

委員会報告

編集委員会

「歯科審美」の発行にあたり、会員の皆様のご協力と、編集委員と事務局の方々に心より感謝申し上げます。2022年3月に「審美歯科」第34巻第2号を発行しました。この号では、原著が4編、臨床：症例報告が1編、特集が2編、合計7編の論文が掲載されています。

第33巻第2号には、残念ながら原著の掲載がなく、第34巻第1号では、原著を2編掲載しました。本第34巻第2号で原著を4編掲載できたのは、著者の方々のご尽力の賜物であり、感謝申し上げます。また、3症例以上を対象とし、原著論文の形式で作成した論文を原著とするという本学会の方針が功を奏したと思います。一般社団法人日本審美歯科学会は、日本歯科医学会の認定分科会から専門分科会への昇格を目指しています。昇格には、本学会員を含み、本学会の活動と関連するPubMed収載の英語原著と「歯科審美」掲載の原著を合わせて、年間20編以上必要になります。

特集では、「デジタルデンティストリーを歯科審美治療に活かす」をテーマとして、2名の先生から「審美修復修復におけるデジタルデンティストリーの今から未来まで」と「全部床義歯におけるデジタルデンティストリー」についてご執筆頂きました。是非ご一読頂き、日々の審美歯科治療の一助となれば幸いです。

「歯科審美」の充実を図るには、会員の皆様から多数の論文投稿が必要不可欠です。今後とも、ご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。
(委員長 遠藤敏哉)

国内渉外委員会

日本歯科審美学会の社会連携事業の一つとして、例年と同様に歯科審美学に関する出張講義を行っています。2021年度は、40の養成校(歯科衛生士36校、歯科技工士4校)からお申し込みをいただきました。コロナ禍ということもあり、対面講義(31校)だけでなく、オンライン講義も9校で実施されました。報告書を拝見すると、講師の先生方のご努力により高評価が得られたのがわかります。講師の承諾をいただいた皆様には厚く御礼申し上げます。2022年度も引き続きよろしく願いいたします。

(委員長 中村隆志)

資格承認統括委員会

資格承認統括委員会は齋藤隆史先生(認定医審議会委員長・認定医制度運営委員会委員長)、石川功和先生(副理事長・認定士審議会委員長)、山羽京子先生(認定士制度運営委員会委員長)そ

して委員長を務める私の4名で構成されており、資格承認部門の認定医審議会、認定医制度運営委員会、認定士審議会、認定士制度運営委員会、ホワイトニングコーディネーター委員会(委員長大森かをる先生)を統括しております。

第51期認定医審査について(症例提示および口頭試問試験)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により1月予定の東京開催を延期し、3月に前回同様ZOOMで行われ全員(3名)が合格しました。同時に更新認定医、認定士の書類審査を行い認定医更新者は7名が承認され3名が終身認定医として承認されました。認定士更新者は1名が承認されました。なお第52、53期認定医口頭試問スケジュールについて、試験対象期間は例年通りとしました(52期:2022年4月~8月頃、53期:2022年10月~2023年1月頃)。23期の認定士試験(併催)は、次回6月の審議予定としました。有資格者は是非、申請をご検討ください。

2022年10月15・16日に日本歯科審美学会第33回学術大会を新潟で現地開催を予定しております。事前に参加登録の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。また、認定医、認定士の申請・更新の際の要件となります学術大会中の指定セミナーの受講もお忘れなきようお願い致します。

日本歯科専門医機構と本学会を含めた関連5学会で『歯科保存専門医(仮称)意見交換会』を15回行い、専門機構認証の新専門医制度について協議を重ねてきました。現行の認定医から本学会認定専門医にスムーズな移行、さらには専門医機構認証専門医に移行できるよう活動を継続していく所存です。今後も変わらぬ御協力をいただきますこと心よりお願い申し上げます。

(委員長 越智守生)

.....

表彰選考委員会

第32回学術大会(TFTホール)にて、2021年日本歯科審美学会功労賞として、佐藤博信福岡歯科大学名誉教授と末瀬一彦大阪歯科大学客員教授への功労賞が授与された。

同学術大会において、2022年優秀発表賞(デンツプライシロナ賞)を、糸田理沙先生(大阪歯科大学有歯補綴咬合顎講座)の「笑顔の強度が顔における注視停留時間に及ぼす影響」が受賞された。昨年新設されたスタートアップ発表賞には篠崎百合絵先生(大阪歯科大学有歯補綴咬合顎講座)の「頭位の違いが女性におけるスマイル時の上顎前歯部露出度に及ぼす影響」が選出されました。第33回学術大会にて授与式が行われる予定です。

(委員長 橋場千織)

広報委員会

広報委員会の大きな取り組みとして、ホームページのアップデート、ニュースレターの配信を行なっております。

これまで、広報委員会ではホームページやニュースレター以外に、SNSやfacebook等による広報活動や情報提供も行なってきました。しかし、社会の変化、とりわけ情報分野の変化は早く、facebookに関しては、昨年11月に社名をMetaに社名を変更しており、その活動もVRやARを用いたソーシャルメタバースといった、仮想空間での活動に注力するように変化しています。広報活動も、社会の変化に合わせた広報活動を模索し、実践していく必要があると考えています。

会員や国民の皆様の意見や他学会や海外の学会の情報を共有し、日本歯科審美学会がデジタル社会および国際社会における学会のみちしるべとなるため、広報委員会がその一助として貢献できるように頑張っていきたいと思っています。

(委員長 若林一道)

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>

ivoclar

Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
https://www.ivoclar.com/ja_jp



ULTRADENT JAPAN株式会社
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-34-14
初台TNビル3F
Tel: 03-5365-1760
<https://www.ultradent.jp/>

QUINTESSENCE PUBLISHING 日本

クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<https://www.quint-j.co.jp>



グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR
Tel: 03-4231-5108
<http://glaxosmithkline.co.jp/gsk-chj/>

kuraray *Noritake* クラレノリタケデンタル株式会社

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4
常盤橋タワー
Tel (フリーダイヤル) : 0120-330922
<https://www.kuraraynoritake.jp>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (カスタマーサービスセンター・お客様窓口) :
0120-416480
<https://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエム ジャパン株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (コールセンター) : 0120-332329
<http://www.3mcompany.jp/dental/>



デンツプライシロナ株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel (フリーダイヤル) : 0120-789123
<https://www.dentsplysirona.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel (フリーダイヤル) : 0120-54-1182
<https://www.tokuyama-dental.co.jp>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17-5F・6F

Tel: 03-5746-0316
<https://www.j-pentron.com/>



ホワイトエッセンス株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-12-18
渋谷南東急ビル11F
Tel: 03-6434-1330
<https://www.whiteessence.co.jp/>



株式会社メディカルネット
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル 3階
Tel: 03-5790-5263
<https://www.dentwave.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5

E-mail: info@mokuda.co.jp
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町6-35

Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18

Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10

Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

Tel (コンタクトセンター) : 0120-178-148
<http://www.yoshida-dental.co.jp>



コメット ダイヤモンドバー FG
ディアオ

DIAO

DIAO. Efficiency, created from diamonds and pearls.



株式会社モモセ歯科商会

〒542-0084 大阪府大阪市天王寺区南河堀町 6-35 TEL. 06-6770-3333 内

医療機器の分類：一般医療機器
一時的名称：歯科用ダイヤモンドバー
販売名：コメット ダイヤモンドバー
届出番号：2702X00091000001



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／大槻 昌幸

編集／一般社団法人日本歯科審美学会
広報委員会

制作／三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/